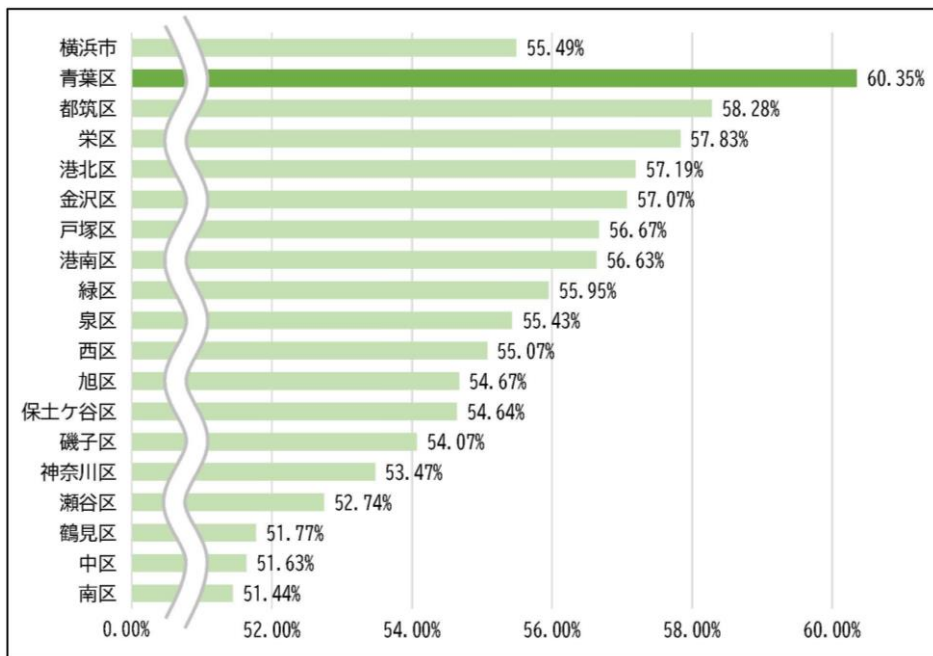




第50回衆議院議員総選挙 執行！

令和6年10月27日に第50回衆議院議員総選挙が執行されました。
 青葉区の投票率は横浜市内で一番高い 60.35%でした。推進員の皆様には、期日前投票所の立会人にご従事いただきました。ご協力ありがとうございました！
 また、今回の選挙から「投票支援カード」「投票用紙記入補助具」が導入されました。

<第50回衆院選 市・区別投票率（小選挙区）>



どうようしえん 投票支援カード

● 投票にお手伝いが必要な方は、このカードを投票所の係員に渡してください。

あなたがしてほしいことを選んでください。

- 投票用紙に代わりに書いてほしい。(代理投票)
- 点字で投票したい。(点字投票)
- 投票所内を案内(付き添い)してほしい。
- 文字(候補者名など)を読んでほしい。

その他の手伝ってほしいことを書いてください。

(例) 声をかけてゆっくりと話してほしい。
・コミュニケーションボードを使ってほしい。

● 投票を支援する物品をご用意しています。

希望される方は、投票所の係員にお申し出ください。

【投票支援物品】

- 車椅子 老眼鏡 拡大鏡 文鎮 点字器
- 投票用紙記入補助具

○代理投票の際は、投票所の係員以外(家族や同行者)が代筆することはできません。

○このカードでなく、口頭やスマートフォンの画面を投票所係員に提示いただいても対応できます。

横浜市・区選挙管理委員会



< 投票用紙記入補助具

「投票用紙に自筆したいが記入する枠がよく見えない」等不安をお持ちの選挙人に、投票用紙の記入する枠を手で触ってわかりやすくするためのものです。透明のハードケースに投票用紙を入れて使用します。



< 投票支援カード

投票所での支援が必要な選挙人の方が従事者に口頭で伝えることが難しい場合や苦手な場合等に使用いただくものです。様式は投票所の他、市の選挙管理委員会のHPにもあります。



推進委員・推進員研修会 開催！

令和6年12月17日（火）に推進委員・推進員研修会を開催しました。
講師として、総務省主権者教育アドバイザーの白鷗大学法学部 市島宗典教授をお招きしました。

前半は、「社会に応じた選挙啓発を-主権者教育の視点から考える-」というテーマで講義していただき、後半は、「新たな選挙啓発活動案を考える」というテーマでグループワークを行いました。



アンケートでは「親の投票行動が、子の選挙に対する意識・行動に大きく影響しているということに驚いた」「グループワークで積極的な意見交換ができた。話し合いをもっとしたい」という声があったよ！

↓ 研修会講義の様子



↓ グループワークの様子



↓ 発表の様子



市島教授と明るい選挙推進協議会の関係

平成24年5月	愛知県 明るい選挙推進協議会 委員	(～平成31年3月)
平成30年4月	総務省 主権者教育アドバイザー	(～現在)
平成30年9月	愛知県 明るい選挙推進協議会 副会長	(～平成31年3月)
令和元年11月	盛岡市 明るい選挙推進協議会 委員	(～現在)
令和2年4月	岩手県 明るい選挙推進協議会 委員	(～現在)
令和2年9月	滝沢市 明るい選挙推進協議会 委員	(～令和6年9月)
令和4年5月	岩手県 明るい選挙推進協議会 副会長・理事	(～令和6年4月)

せんきょフォーラム 7校で実施！

令和6年度は、7校の小学校でせんきょフォーラムを行いました。

年度初めに実施した活動参加アンケートで「参加を希望する」とご回答いただいた方には、近隣の小学校でせんきょフォーラムの実施が決まった際、設営や投票管理者等のお手伝いをお願いしました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました！

<令和6年度 せんきょフォーラム実施校一覧>

小学校名	実施日	模擬投票テーマ
谷本小学校	6月11日	給食選挙
市ヶ尾小学校	6月18日	学年レクリエーション選挙
美しが丘東小学校	7月16日	給食選挙
黒須田小学校	12月18日	給食選挙
山内小学校	1月22日	給食選挙
荏田西小学校	1月17日	夢の時間割選挙
みたけ台小学校	2月17日	卒業レクリエーション選挙

→ 候補者演説の様子



→ 模擬投票の様子



→ 模擬投票の様子



→ 開票審査係の様子



→ せんきょクイズの様子



第2回 企画・運営チーム会議 実施!

令和7年2月27日（木）に、企画・運営チーム会議を行いました。
 会議では、令和6年度の振り返りと、令和7年度の区民まつりやせんきょフォーラムで配布をする予定の啓発物品について検討しました。
 一緒に検討いただけるチームの仲間を随時募集中です！ご興味があればぜひ事務局までご連絡ください！

→ 会議の様子



作文コンクール 入賞作品紹介！

全 272 作品の中から、10 作品の入賞が決まりました！今回は、会長賞、委員長賞、区長賞の 3 作品をご紹介します。他の入賞作品は、ぜひHPでチェックしてみてください！

会長賞

皆に知ってもらいたいこと

美しが丘中学校

三年 大橋 佐保

私には身近に感じている横浜市の市議会議員さんがいる。テレビやネットで目にする政治家の人たちは、きつとこれからも会うことのないだと思いが、この人は私や、地域の為に動き支えてくれる人だ。

私には先天性の障害がある。そのため小学校には車で通学していた。中学入学の時には一人で通学できるようにと電動車を椅子を用意してもらい、何度も通学路を練習した。ただ、通れる道もあるが、坂がきつくと、荷物も重いので、ひっくり返ってしまふような不安があった。また、通学するための道には段差があるため、友だちとの通学をあきらめていたが、母がたくさんの人に相談して、地域のことならその市議会議員さんを紹介してもらった。その議員さんは通学路の話を聞いて、私と一緒に歩きながら困っていることを聞いてくれた。そして私に、

「環境が整っていけば、あなたの障害は障害にならないよ。」

と励ましてくれた。さらに、青葉区がより良い町になるために直すのであって、私だけのために直すのではないと話してくれた。

私は将来車椅子で行けない場所をなくしたい。なぜならそれが青葉区をよりよく住みやすい町につながるようになるからだ。私が住んでいるところは青葉区の中でも坂が多く、段差が多い地域だと聞いたことがある。だけど、この町が好きで、ここに住んでいる人たちが好きだから離れたくない魅力がある。どんな人でも、歩きやすく、楽しめる町づくりに私の知識や体験を活かして貢献したい。

自分たちの未来のために、正しい知識と正しい目で候補者を選び投票することが大切だということを知ってもらいたい。そのためには、世の中の動きに子供ときから興味を持つこと、それに対する考えを常に持つことが大切だと思う。大好きな青葉区のために十八で可能になる選挙の機会を大切にしていきたい。



委員長賞

未来の区長の公約

市ケ尾中学校

三年 片岡 逢人

私は、四歳の時に名古屋から青葉区に転居してきました。名古屋に住んでいた記憶はないため、青葉区が私のふるさとだと思っています。今回はもし青葉区長になったときの公約をしたいと思います。理由として、今の青葉区は二百以上の公園があります。これは横浜市でも一番多い数となっていて、公園が多い区というイメージを持っている人は多いと思います。そういった理由もあるのか若年層ファミリーに人気で、横浜市の中でも人口は三十万超のエリアです。横浜市北西部に位置している「丘の横浜」と呼ばれている通り丘陵が多く、よく自然を感じられるような区になっていきます。また、子どもが遊べる「こども国」等、家族で遊べるスポットもいくつもあり、充実しています。しかし、もつと住みやすくよりよい街にもできると思います。実際、若年層ファミリーが生活している中、子育てにもつと優しくあるべきだと思ったり、こうすれば便利になるなど考えたりすることがあります。このことから、僕はもし青葉区長になった際に以下の公約をしたいと考えています。

一つ目に、先に話した通り青葉区は若年層ファミリーが多く、小さな子どもたちが住むエリアになります。そうすると例えば、自転車専用ロードを作る必要があると思います。日本では二〇一七年から自転車での事故が段々と増加傾向にあります。事故が多くなっている中、青葉区が積極的に取り組む事故が減らしていくことで、子どもが安全に暮らすことができ、子育てに優しいイメージを作り出す事ができます。

二つ目に、公園の数は多い区ではあるもののその面積は小さいです。さらに、現在多くの公園でボールが使えるなかつたりと大人数で遊ぶには適さない公園があります。そして、小さい公園では混雑していて、動きにくくなります。そのため、面積が広く、ボールが使える公園をもつとつくるべきです。面積が増えることで一人一人がゆとりをもつて遊ぶことができます。

三つ目は高齢者と幼い子どもたちがかわる機会を増やす事が必要だと思えます。そのため、老稚園を作る事です。現在、核家族の割合が増え、小さな子どもたちが高齢者と関わる機会が減っています。地域として子どもたちを見守り、育んでいく必要があると考えます。また、青葉区に住む高齢者は増えてきているので、老稚園が必要になってくると思います。高齢者が小さな子どもたちと関わり、元氣やいい刺激を貰う事ができ、子ども側は両親以外の大人と関わることで成長に繋がります。そのため、老稚園を作ること、幅広い年齢層の関わる機会を作り、地域活性化に繋がりたいと思います。

以上のことを実施することで、今後よりよい青葉区を作っていけると私は思います。

区長賞

よりよい青葉区と、よりよい日本にするために

市ケ尾中学校

三年 船江 優歌

私たち家族が青葉区に引っ越してきて、もうすぐ丸十年になる。青葉区は、自然や公園、住宅が多く、静かでも住みやすい街だと思ふ。青葉区で有名なところと言えば「こども国」だと思ふが、幼い頃は、お弁当を持って家族でこども国に行くのがとても楽しかった。

一方で、引っ越してきて最初に思ったこと、そして今でも思っていることは、とにかく坂道が多いということである。家を出てすぐの道がもう急な坂道なのである。青葉区が坂道が多いというよりも、横浜市、それから田園都市線が坂道が多いようである。青葉区に来る前は、国の語源にもなっている平坦な国オランダに住んでいた。今でも夏の暑い日などは家を出て目の前の坂道を見ただけでげんなりする。私は小学生のときはサッカー、中学に入ってからテニスをしていたので足腰を鍛えるためのトレーニングだと思えば、坂道も悪くないと思っているが、母は、持病の腰痛が悪化したため、電動自転車を購入した。しかし、安くても電動自転車は十数万円する。今は円安で物価高なのでもつと高い。家計にはだいぶ負担である。

そこで、電動自転車の購入費用の補助金を青葉区で出したらいいのではと思う。調べたところ、電動自転車の補助金を出しているところは神奈川県では厚木市だけだった。横浜市に聞いたところ、そのような要望は前にあつたが、予算の折り合いがつかなかった、自転車に乗らない人もいるので不平等だと実現しなかつたそうだ。様々な意見はあるが、厚木市でできているのであれば青葉区が横浜市で先駆けて補助金を実現すれば子育て世代にはありがたい制度なのではと思う。

坂道以外にも青葉区には解決しなければいけない課題がたくさんあると思うが、要望を届ける窓口として、市議会議員の方がいると知った。市議会議員は選挙で選ばれた方々である。

先日、東京都知事選があり大きな話題になったが、なぜその候補者に投票したのかという質問に対して、「知名度」「いい人そうだから」「何か変えてくれそうな気がする」「その党を支持しているから」という声がほとんどであり、具体的な政策を見て投票している人がとても少ないのである。優しい人でも、支持している政党だとしても、自分とは考えが違う候補者かもしれない。だから、選挙に行つて投票するときは、候補者の政策を事前に調べて、その考えに共感できる人に投票するべきだと私は思う。

慣れ親しんだ青葉区が大好きなので、もつと住みやすい街になるように、気づいたことは自分の中にしまっておくのではなく、まず家族と話し、区役所や市議会議員の方などに意見を届けていきたいと思う。

おまけ

任期2年間の振り返り

今回の推進委員・推進員の皆様の任期は、令和5年4月1日～令和7年3月31日です。2年間、様々な明るい選挙の推進活動にご協力いただきまして、ありがとうございました！



令和5年6月
委嘱式・研修会



せんきょフォーラム
模擬投票 補助



高校文化祭
ブース運営

作文コンクール
一次審査



市・区明るい選挙
推進大会



区民まつり
ブース運営

暖かくなり氷が解ける頃となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

令和6年度は秋に衆議院選挙があり、短い期間での期日前投票所の立会人依頼となりましたが、ご協力いただきありがとうございました。

令和7年度は2つの選挙が予定されています。皆様の任期は3月までではございますが、引き続き就任いただける方におかれましては、ご協力よろしくお願いたします！

編集後記



HPはこちら



過去のイコット通信は
HPで見られるよ！

あおばイコット通信
令和7年3月号

<編集・発行>
青葉区明るい選挙推進協議会

<事務局>
青葉区総務課統計選挙係
TEL:978-2205 FAX:978-2410
MAIL: ao-toukei@city.yokohama.lg.jp